

(第三種郵便物認可)

三重

●三重支社

四日市市浜田町3-12
 四日市三交ビル3階
 059(354)6116
 FAX 059(329)5333

●津支局

津市羽所町536オーシャンビル
 059(228)2545

Area News

【岐阜】岐阜県は4日、岐建・コスモ石油販売特定事業共同企業体と太陽光発電事業協定を締結した。同企業体は、代表企業の岐建

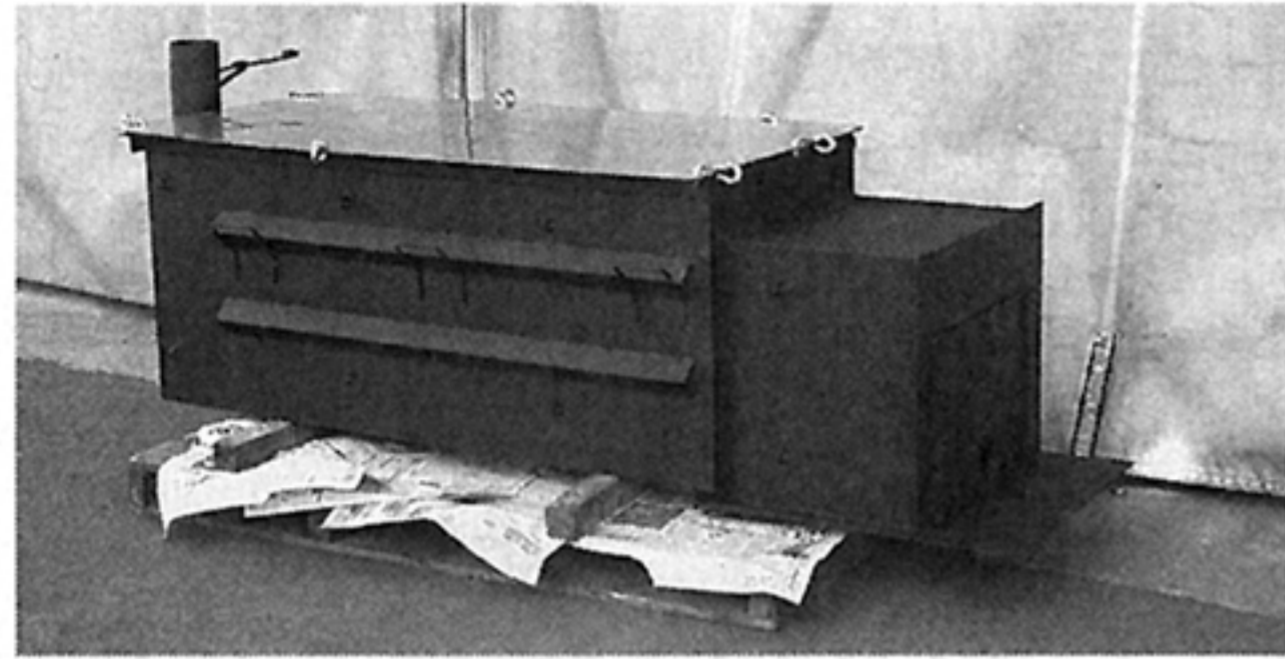
(本社大垣市)とコスモ石油販売で構成。美濃加茂市の県有地約2万6千平方メートルを年間2億5千万円で借り受け、2013年12月から33年12月までの20年間、太陽光発電事業と農業事業を展開する。投資額は約6億3千万円。太陽光パネル6万5千枚を設置し、年間発電量は約160万キロワット。売電事業だけ

同日、岐阜県庁で締結式が開催され、岐建社長(左)と古田博一氏ら出席する。

同日、岐阜県庁で締結式が開催され、岐建社長(左)と古田博一氏ら出席する。パネルの架台下では、サカキなど葉物の植物栽培を実施する。農業は未知の世界だが、新事業がエネルギー問題や雇用問題の解決につながるよう努力していきたい」と語った。

竹炭窯の新商品発売

サーブ燃料に竹端材使用



販売を始めた竹炭窯の新商品「かぐや姫」

ホームページの企画制作、広告代理業のサーブ(本社四日市市東阿倉川360、竹内司社長、電話059・3330・4545)は、竹炭窯の新商品「かぐや姫」の販売を始めた。従来製品に比べて窯本体をコンパクト化した。また、燃料に竹の端材を使用し低コストで竹炭と竹酢液をつくることのできる。自社のホームページなどを通じて、学校関係や竹林整備のNPO法人・団体、個人、自治体向けに年間10基の販売を目指す。(四日市・下司範生)

学校や自治体向け 年間10基販売めざす

かぐや姫は、同商品で提携する常磐製作所(三重県朝日町)が開発した。サーブが自社のホームページなどを通じて販売を手がける。窯本体の大きさは縦1850ミリ、横600ミリ。鉄板製で本体重量は165キロ。従来製品より構造を簡素化したことで、付帯設備を含めた設置に必要なスペースは約9平



出席した古田社長(左)

方程度で済む。砂を入れる断熱枠に改良を加えたことで、外気温の影響を「ほぼ100%遮断できる」(竹内社長)ため、窯内部の燃焼温度の管理が容易になり、従来より短時間で良質な竹炭ができるという。1回で約140キロの竹材を焼くことができ、竹炭20キロ程度を回収できるほか、土壌改良や虫除けなどに利用でき提案を進めていく。

燃料に竹の端材を使用し、ガスや電気、石油などは使わないため、低コストで経済的なことも特長。価格は、窯本体と断熱枠、竹酢液回収用の煙突など付帯設備のほか、設置・試し焼き料を含めて1基84万円(税込み)。里山整備などで出た残竹材の有効利用を主用途に導入提案を進めていく。

「飛鳥II」見学しよう

四日市市港客船誘致協議会 参加者を募集

【四日市】四日市港各船誘致協議会は、13日(11月11日)に開催する豪華客船「飛鳥II」の歓迎訪船イベントの参加者を募集している。見学会は午後1時半から午後2時半。募集



人数は100人で、応募者多数の場合は抽選。参加無料。乗船場所は四日市港霞地区(24号岸壁)。見学会後は、即売会や歓迎アトラクションもある。応募期限は14日午後5時必着。見学会は四日市「飛鳥II」で。応募先

【亀山】

【飛鳥II】

【飛鳥II】